

原子力防災ウェビナー ～自然災害への対応との協働～

日時： 2023年（令和5年）5月10日（水）13:15-15:00

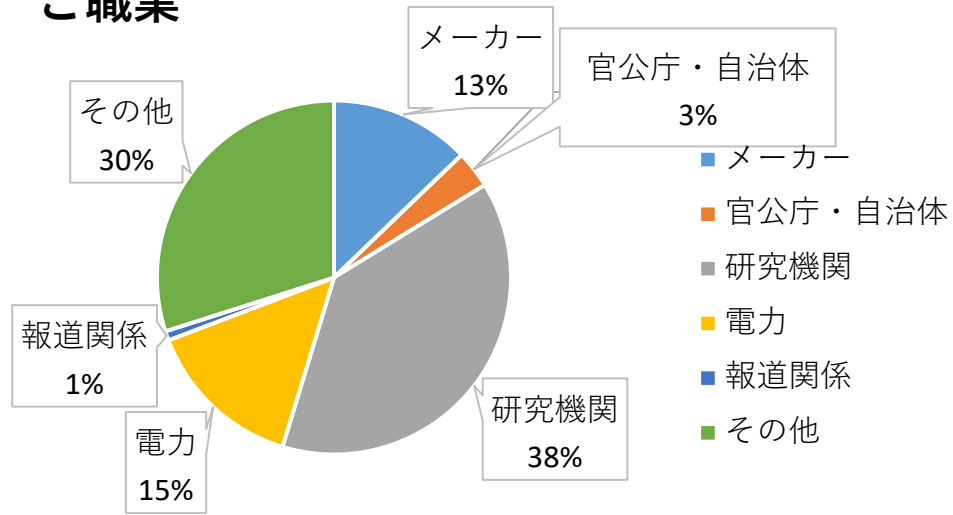
主催： 一般社団法人 日本原子力学会

開催方法： ZOOMによるウェビナー形式

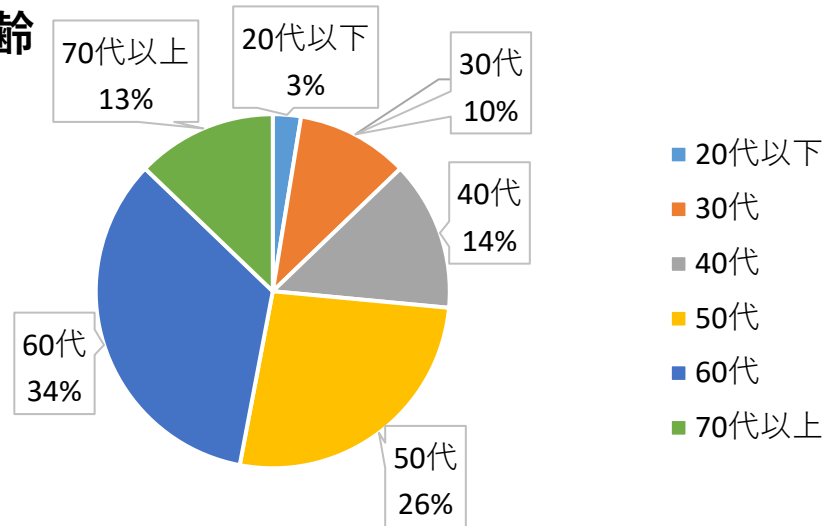
終了後のアンケート結果

117名の回答を得た。参加者は160名程度であったことから、70%以上の回収率である。

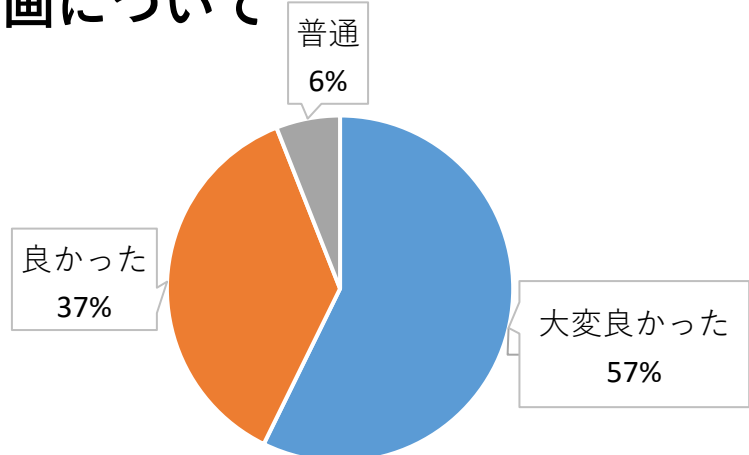
ご職業



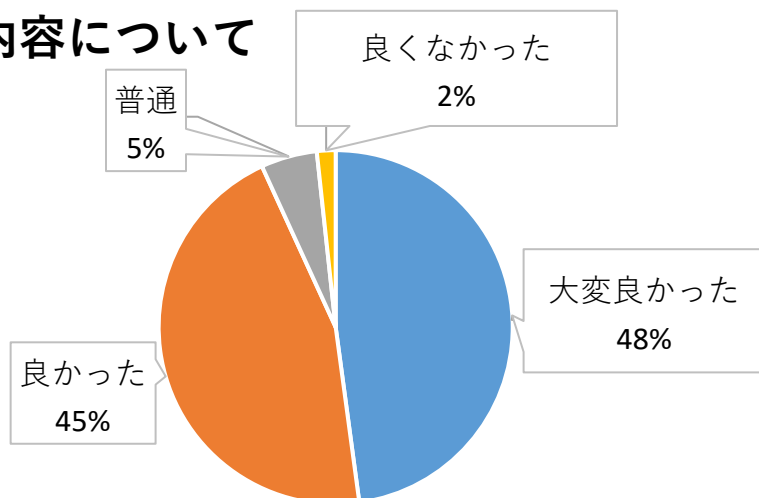
年齢



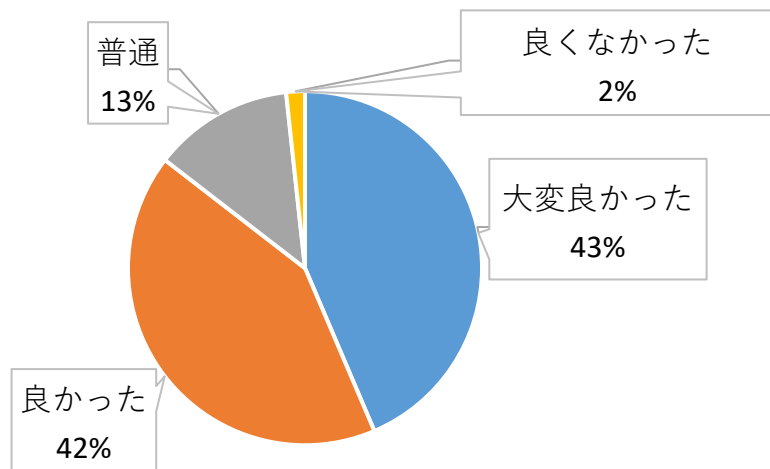
企画について



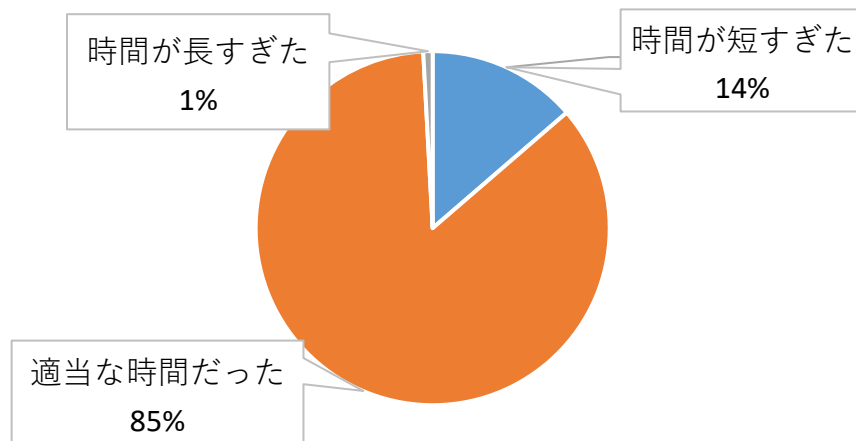
講演内容について



パネルディスカッションについて



時間について



- 企画について: 「大変良かった」 + 「良かった」 で94%
- 講演内容について: 「大変良かった」 + 「良かった」 で93%
- パネル討論について: 「大変良かった」 + 「良かった」 で85%
- 時間について: 「適当だった」 が85%

本日のウェビナーについてのご意見 (1/4)

本日のウェビナーについてのご意見	ご職業	年齢
今後も続けて頂けるとありがたいです。	研究機関	40代
異なる立場の講演者の方から話が聞けて大変参考になりました。初めて聞くような用語もあり、勉強と情報収集の必要性を感じました。	その他	60代
自然災害と原子力災害に対する対策（防災）の連携は当然必要だが実際には行われていないということなので、今後は各自治体等で取り組んでいただければいいかなと思った。	その他	70代以上
大井川さんの司会進行が巧みで関心した。臼田さんは原子力防災に関して気を使って話をしてもらえるように感じた。率直な意見を本当は聞きたかった。 なお、防災は地方共同体の活動が主である。このため、地方公共団体が何を欲しているかのニーズを聞きたかった。	研究機関	60代
時々行うことが大切と思います。	その他	70代以上
特にありません。	電力	50代
災害の情報共有に関する最新の取組を知ることができて有意義であった。	メーカー	60代
自然災害の防災対応状況・各種システム等を把握できて参考になった。	その他	70代以上
プレゼンやパネルディスカッションを通して非常に有用な情報が得られた。	研究機関	50代
自然災害と原子力災害の連携の重要性をじっかんした。	メーカー	70代以上
大変参考になる情報が多く感謝します。一方、原子力防災に業務として関わっている身としては基本的な話で時間がとられてしまっているように感じました。本題の部分をもう少し詳しく聞きたかったという思いがあります。特に臼田氏の講演内容は新鮮な切り口で、今回は断片的なご説明であったと思うので、十分な時間をかけて体系的なお話をいただきましたかった。	その他	30代
進行が大変よかった。	研究機関	60代

本日のウェビナーについてのご意見 (2/4)

本日のウェビナーについてのご意見	ご職業	年齢
自然災害防災と原子力災害防災の最新の状況が分かり、大変、有意義でした。ありがとうございました。	電力	50代
議論での論点が多かった印象もあり、最後に若干駆け足になりましたが、多くの活動を知ることができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。	官公庁・自治体	40代
研究者が防災にどう関わることができるのか、その基本的な立ち位置を明確にして議論を進める必要がある。	その他	70代以上
講演者のお話は非常に参考になった。ただし、司会者が慣れていないのか、議論進行、話し方がお粗末。また、話の途中での「あのう～」、「あのう～」が入り、非常に聞きづらかった。	研究機関	70代以上
うまくウェビナーに接続できず全容が聞き取れなかったが、一般防災と原子力防災側間の連携をブラッシュアップする事が重要である事が分かった。特に医療の部ブラッシュアップは重要と思った。	その他	70代以上
自然災害と原子力災害の対応の違いに関する議論が参考になりました。	電力	30代
全体的に内容のバランスがとれたウェビナーであった。	その他	60代
自然災害では自助という言葉が言われていると話していました。原子力災害も自助が大切だと思います。自助力を高めるためにも、放射線、原子力の知識普及が大切です。原子力防災の人材育成が進めば、知識普及も進むと思いますので、人材育成に力を注いでいただきたいと思います。	研究機関	60代
他分野での考え方等を知る良い機会でもとても有意義でした。ありがとうございました。	研究機関	50代
途中から出席したので、発表資料を入手できればありがたいです。	研究機関	60代
現状と課題が良く分かりました。原子力とそれ以外の分野の連携をより考えていくことが重要だと感じました。ありがとうございました。	研究機関	50代

本日のウェビナーについてのご意見 (3/4)

本日のウェビナーについてのご意見	ご職業	年齢
自治体の原子力防災に関する取り組み（鳥取県）が参考になった。	研究機関	60代
SID4Dシステムのデータ融合性に感心した。原子力防災への適合を是非勧めて欲しい。なお、原子力防災訓練について実績を強調されていたが、現状、予定調和の中だけでの実績に感じる。講演で言及されていた自然災害との複合想定での難しい訓練にチャレンジして欲しい。	研究機関	50代
原子力緊急時において、原子力災害対策本部や緊急時対応センター（ERC）がどのような働きをするかをもう少し噛み砕いて説明をして頂くと、災害緊急時における全体の動きが分かりやすくなると思いました。	その他	60代
ヨウ素剤のことが何もなかった。私はヨウ素剤より、栄養学的な防御という女子栄養大学の香川先生の主張のように、葉酸、ビタミンC、ビタミンEの多い摂取による被ばくダメージの低減等の方が一般の人に受け入れられやすいと思う。この方面の研究を検討して欲しい。	その他	60代
原子力防災についての一般市民の懸念、何を心配しているのか、それに対する対応はどうか、などの掘り下げがもう少しあっても良かったと思う。	その他	60代
趣旨や意義はとても良く理解できるのですが「防災もきちんとやっています」という業界団体のアピールの場に見えてしまいました。学術団体の講演会としては物足りないと思います。	研究機関	40代
所用のため、途中で退出せざるを得ませんでした。鳥取県だけ？と思いました。	その他	50代
原子力防災において、避難計画の実効性が問われている。実効性をどのようにして担保しようとしているのか、ご教示いただきたかった。	報道関係	50代
防災の初心者ですが、基本的な情報を理解することができた。	電力	50代
防災における情報共有の仕組みについて有用な情報を得ることができました。有難うございました。	その他	60代

本日のウェビナーについてのご意見 (4/4)

本日のウェビナーについてのご意見	ご職業	年齢
自然災害と原子力災害時における中央及び現地の関係機関が連携する上での課題についてもう少し掘り下げ議論ができれば良かったと思います。特に状況認識の統一を図るための情報共有のあり方は重要と考えます。また、国が関係機関と協同して行う原子力総合防災訓練へのISUTの参加など、今後、自然災害部署と原子力災害部署との相互連携の向上を一層図るための機会を作為していくことが必要と考えています。(元原子力防災専門官)	その他	60代
事故対応についての法体系、組織的体制についてあまりに関連機関が多く、どんな事故の時には誰がイニシアティブをとるのか、関連機関の調整役を担うのか不k雑すぎて機能しない懸念がある。	その他	70代以上
原子力防災が、原子力単独だけでなく自然災害との関係性についても、非常に重要であることが理解できました。	その他	60代
防災では関係機関との連携が非常に重要であると、わかった。 講演者の方々に感謝も申し上げます。	メーカー	60代
防災は不明なことが多いので繰り返しやるべき。	その他	50代
原子力防災の今後の課題が理解できた。	メーカー	60代
全国各地で発生する自然災害と原子力発電所設置県及び周辺地域が主に対象となる原子力災害。多くの人には、原子力災害は他人事との風潮がある。ここを解消する方策が求められますね。	その他	60代

今後のウェビナー・講演会等で希望する テーマ (1/2)

今後のウェビナー・講演会等で希望するテーマ	ご職業	年齢
DXやAI等に係るテーマを希望します。	研究機関	40代
良好な状態で内容を視聴出来ました。しかし、「原子力防災という活動の目的」に基本的疑問を覚えました。原子力防災の目的を明確に示すには、「1F事故時に、一切の防災活動をせず、事故後の除染活動を集中的に実施したのみであったら、どれだけの人的放射線障害が生じたかを可能なレベルで評価し、その抑制に必要な活動を把握して目的を設定するべきではないか」との疑問です。これは不適切な関連死を防止するために不可欠です。	研究機関	70代以上
原燃サイクル全体および各分野について	その他	60代
隣接自治体の住民が何を考えておられるかを聞ける機会を設けていただくと有り難い。	研究機関	60代
医療機関との連携を行って欲しいです。	その他	70代以上
特にありません。	電力	50代
原子力災害対応における国と自治体の役割分担、連携の在り方	メーカー	60代
自然災害医療と原子力災害医療の対応準備状況と今後の方向性等を知りたい	その他	70代以上
自治体の原子力災害対応状況について、自治体間のパネルディスカッションが聞きたい。	メーカー	70代以上
原子力防災関連では、専門家によるシミュレーション（避難時間推計、被ばく線量など）の解説や、今回の質疑にもあった先端ICT技術、またそういった先進的知見・技術の地域防災への導入事例など、高度先進的な内容を期待します。	その他	30代
ビジネス的な視点でのテーマ	その他	20代以下
原子力関連法令に関するテーマをお願いします。	メーカー	50代
代表的なPAZ自治体の原子力防災計画、f久郷災害対応についてご説明して頂きたい	その他	70代以上
外部ハザード対応等の取り組み	メーカー	60代

今後のウェビナー・講演会等で希望する テーマ (2/2)

今後のウェビナー・講演会等で希望するテーマ	ご職業	年齢
原子力防災をテーマにした研究の紹介	研究機関	20代以下
引き続き防災	研究機関	60代
定期的に原子力災害防災に関する最新の状況についてテーマとして取り上げて頂けると幸いです。	電力	50代
高経年化対策について	その他	70代以上
防災（原子力・一般防災）のツールとしてのAIの有効性に関する講演会	その他	70代以上
取り組みの具体例（訓練、演習等、アプリの使用）の紹介	その他	60代
新規性基準により各発電所が具体的にどのように変わったのか（どの程度安全性が向上したのか）	電力	50代
1Fでのトリチウム水の海洋放出に関すること。	その他	60代
隕石でウランは地球にきたか(太陽系の核融合では鉄までの元素しかできない)、医療RIにおける取組とアイソトープテーブル改訂(今のRI手帳等医療用RIがほとんど役に立たない。)JPARCセミナーとのコラボ、富士山噴火における首都圏の取組(おそらく停電、交通渋滞、火山灰での目の負傷等がある。)、原発長期運転における安全性の国民理解への取組、MAAP等を用いた放射能拡散予測による住民避難の優先順位付考慮	その他	60代
原子力防災の一般の方の理解向上対応	電力	50代
①大規模災害時の迅速な初動活動体制のあり方 ②複合災害時の関係機関の連携のあり方 等について	その他	60代
内部からの脅威、外部脅威に対する備えは不十分と理解している。国、自治体、事業者の取組は？	その他	70代以上
福島第一事故では総じてマニュアルや訓練と異なった対応がされた実態や原因。当時の保安院、現在の規制庁で担当している山本哲也氏や山下センター長、内堀副知事の話聞いたほうがよい。	その他	50代